



自閉スペクトラム症

テーマ「ASD の学生が豊かな大学生活を送るには」

令和6年4月に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が改正され、私立の高等教育機関（大学、高専、専門学校、短大）においても、障害者に対する不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供が義務付けられました。一方で、ASD（自閉スペクトラム症）をはじめとした発達障害のある学生の入学者数は増加しており、大学の教職員も支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことが求められています。また、熊本市発達障がい者支援センター「みなわ」にはASDの学生からの修学・就職などについての相談件数も増加しています。そのような中、この学習会では、相談支援担当者と大学教員からの現状と課題の報告を踏まえ、高等教育機関で学ぶASDの学生が「豊かな」大学生活を送るためには、どう支援を受けたら良いかを皆様と考えたいと思います。

日時：2025年7月20日(日) 13:30～16:30 (受付 13:15～)

13:30～13:35 ご挨拶・主旨説明（熊本県自閉スペクトラム症協会 副会長 村上祐治）

13:35～14:35 第1部「みなわの紹介と高等教育期の相談状況」

熊本市発達障がい者支援センターみなわ 相談員

谷 滋規 氏、橋本 翔一郎 氏

14:35～14:40 小休憩

14:40～15:40 第2部「障がいのある大学生に対する修学支援の現状」

九州ルーテル学院大学 人文学部人文学科 児童教育専攻 教授

栗原 和弘 氏

15:40～15:50 休憩（質問用紙回収）

15:50～16:30 質疑応答（フロアーとの交流）

場 所：くまもと県民交流館 パレア 10階 会議室8

対 象：発達障がいのある大学生や大学進学を考えている当事者及びその保護者

高校・大学等の先生、支援者、大学におけるASD支援に関心のある方

参加費：熊本県自閉スペクトラム症協会会員：無料、 会員外：500円

定 員：50名

申し込み：申込は以下のフォームよりお願いします。

<https://autism-kumamoto.org/form/2025/20250720/>

問い合わせ：メール ask@autism-kumamoto.org または 電話 090-3604-1536（担当：村上）



栗原和弘先生プロフィール

熊本県立養護学校・聾学校教諭、熊本県教育庁高校教育課主幹、特別支援教育室長、特別支援教育課長、県立特別支援学校教頭・校長を経て、2019年から現職。

障がい学生サポート委員長、自閉症支援部顧問。

